



# 自治は笑顔と協働から

自治会大会スローガン

「つくりだそう自治の力で 明るいまちを」



創立40周年・津久井地域自治会連合会との統合記念  
平成20年度自治会大会  
(平成20年7月5日 於市民会館)

題字  
加山  
俊夫



陣馬山頂(藤野)

©相模原市観光協会

どこまでも青い空と流れる雲  
そして白い馬  
遠くに南アルプスや富士山  
そして江ノ島も...  
そう、  
ここがぼくの展望台  
大自然と雄大な景色の中で  
「さがみはら」を満喫できる場所



上溝夏祭り

守るべき歴史と文化  
創るべき未来...  
わたしたちが今すべきこと  
そんな生身の自分が  
たった今祭りの中にいる  
躍動と緊張...  
そして感動と余韻  
活気あふれる  
「さがみはら」を  
守っていくために...



甲州街道小原宿本陣祭(相模湖)



市民桜まつり(市役所前)



相模大野駅南北自由通路

都市機能を求め  
便利とゆとりが共に栄える相模原  
明るく、暖かく  
人が住みよい「まち」づくり  
誰もが愛し、憩い  
そして集える  
わがまち「さがみはら」



橋本駅北口市街地再開発地区



津久井湖

# 自然と都市の 躍動する さがみはら



## 40周年を契機に更なる発展を

相模原市自治会連合会 会長 細谷昇

昭和44年に発足した相模原市自治会連合会は、今年度で40周年を迎えることになりました。

この40年間、各地域において自治会活動にご尽力をいただいた自治会長、役員並びに会員の皆様に対しましては、敬意を表し、深く感謝申し上げます。また、当連合会の活動にご支援やご協力をいただいている関係諸団体の皆様に対しましても、厚くお礼申し上げます。

この40周年の節目の年に、城山町、津久井町、相模湖町、藤野町との組織統合が完了し、新しい「相模原市自治会連合会」へと発展をいたしました。この組織統合に関しましても、関係各位の皆様のご尽力があったことにお礼申し上げますとともに、円滑な統合ができましたことに喜びを感じている次第です。

さて、現在、相模原市は政令指定都市への移行に向けた準備を進めておりますが、都市の規模が拡大するなか、身近な地域で、より住みやすい生活環境を作る日常活動をしている我々自治会の重要性が増してきていると考えております。

しかし、最近の自治会活動を顧みますと、加入率の低下など地域における住みよいまちづくりを支えてきた地域の力が弱まりつつある状況にあると認識しています。

このため、昨年度、自治会活動を中心とした地域活動の活性化を図るため、関係各位のご協力をいただきながら検討を重ね、その成果を「地域を元気にする検討会議 提言書」としてまとめ、現在も、提言内容に基づいた地域の活性化について取り組みを進めているところです。この節目の年を契機に、行政や関係諸団体とも協力しながら、提言書の内容を実現できるよう、今後も積極的に取り組んでいく所存です。

当連合会のスローガンは、「自治は笑顔と協働から」です。今後もこのスローガンを基本に、自治会連合会及び各自治会の発展に努めてまいりたいと考えております。

この記念誌の発刊に際し、ご寄稿された方々、記念誌編集に携わった方々、協賛いただいた方々に心より感謝申し上げます。併せて今後とも当連合会に変わらぬご支援、ご協力を賜りますことを切にお願い申し上げます。あいさつとさせていただきます。



## 市連創立40周年を祝して

相模原市長 加山俊夫

相模原市自治会連合会の創立40周年を心からお祝い申し上げます。

貴会におかれましては、昭和44年に創立されて以来、防災・防犯・環境美化活動など、コミュニティ活動を力強く推進し、地域住民が安全・安心に暮らせるまちづくりにご尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。これもひとえに、歴代の会長をはじめ、自治会活動に積極的に取り組んでいただいている皆様方のご苦勞の賜物と深く敬意を表する次第でございます。

さて、相模原市は、津久井郡4町との合併により、都市としての機能と豊かな自然環境を併せ持つ人口70万を超える大きな都市となりました。本市の持つ可能性を最大限に生かしたまちづくりを推進する中、活力と魅力あふれる“新さがみはら創り”に向け、「自らの地域のことは自らの意思で決定し、その財源・責任も自らが持つ」という地域主権の理念の下、都市内分権によるまちづくりを効果的に進めるため、より大きな権限と財源を有する政令指定都市への移行に向け準備を進めているところでございます。

市民生活におきましても、地域主権のまちづくりを推進する上では、地域の生活環境の向上や日常生活における様々な課題解決のために中心的に活動する自治会活動の活性化が最も重要であると考えております。

このような中、相模原市自治会連合会が、自治会活動を中心とした地域活動の活性化を図るため、「地域を元気にする検討会議」において提言書をまとめ上げられましたことは、大変時宜を得た取り組みであると敬意を表する次第でございます。

本市においては、ご提言いただきました内容を尊重し、自治会をはじめとする地域の市民の皆様と行政の協働によるまちづくりを一層推進してまいりますので、さらなるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に相模原市自治会連合会の皆様方におかれましては、本市のまちづくりの核として、今後とも地域の発展のために一層ご活躍いただくことを心からご期待申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。



## 40周年を祝して

相模原市議会  
議長

稲垣

稔

相模原市自治会連合会が、ここにめでたく40周年を迎えられましたことに心からお祝い申し上げます。

自治会連合会の役員並びに自治会活動にご尽力されておられます皆様においては、地域住民の福祉の向上と市政の発展のため、日頃から、献身的に活動いただいておりますことに心から敬意を表するものであります。

顧みますと、市自治会連合会は昭和44年6月に自治会相互の積極的な連携と自治会運営の発展を目的に発足し、以来、組織の充実や自治会報の発行、各種行事等の幅広い活動の展開をとおして、住みよい地域づくりの進展に貢献されてきたところであります。これもひとえに、皆様方の市政に対する深いご理解・ご協力の賜物と心から感謝を表する次第であります。

本市は、平成19年3月に津久井地域との合併が完了し、都市機能と豊かな緑、5つの湖を併せ持つ、今や人口70万人を超える首都圏南西部における広域交流拠点都市として大きく発展してまいりました。

そして現在、より自主的で自立的なまちづくりが可能となる政令指定都市への移行を目指し、取組が進められているところであります。

地方自治行政を真に地域に根ざしたものとするためには、先人の積み重ねてきた功績を大切にしつつ、さらに、将来を見極め、多様化する市民の要望に柔軟に対応し、行政を展開していかなければならないと思います。そのためには、自治会活動はその根幹をなすものであり、引き続き皆様方のご理解・ご協力とともに力強いご支援が不可欠であります。

どうかこの40周年を契機とされ、これからも「自治は笑顔と協働から」の精神のもと、次世代に誇れる「ふるさと 相模原」のまちづくりにより一層のご協力をお願いいたしますとともに、相模原市自治会連合会がますますご発展されますようご祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。



## 相模原市自治会連合会創立40周年を祝して

相模原市社会福祉協議会  
会長

吉本一夫

この度、相模原市自治会連合会が記念すべき40周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。また、この間、「明るく住みよいまちづくり」の実現を目指して諸活動に積極的に取り組まれ、会の発展に御尽力されました歴代役員、そして自治会関係者の皆様に対し深く敬意を表するものであります。

貴会が昭和44年に創立されて以降の40年というものは、社会環境の変化とともに地域社会も大きく変化した時期であります。

市の人口は、平成18年と平成19年における津久井郡4町との合併を経て70万人を超え、また、本格的な少子高齢社会の到来による社会状況の変化などにより地域コミュニティのあり方が改めて問われております。

こうしたなか、相模原市自治会連合会におかれましては平成19年7月から「地域を元気にする検討会議」を開催し、相模原市のそれぞれの地域をさらに元気にするため、地域の活性化とその具体策について検討され、平成20年6月に提言書としてまとめられるなど、時代の変化に対応し、その要請に応える活発な活動を展開されています。

提言書のなかで、「自治会が元気になることが、地域の元気を高めることになる」とされていますが、同じ地域を活動の舞台とする私たち社会福祉協議会におきましても、ますます地域の元気を高めることが急務であると思っています。

今後とも本会は、自治会連合会との連携のもと、一層の地域福祉の推進に向け取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうか御支援と御協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、相模原市自治会連合会のますますの御発展と皆様の御健康を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。